

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第2回入間市総合教育会議
開 催 日 時	令和3年9月29日(水) 午後1時00分 開会、午後2時35分 閉会
開 催 場 所	市庁舎B棟5階 第3委員会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	市長 杉島理一郎 教育長 中田一平 教育長職務代理者 河村佳樹 教育委員 高山茂 教育委員 橋本清美 教育委員 山本和人
欠席委員(者)氏名	-
説明者の職氏名	こども支援課こども政策室長 徳山雅美 総務部参事兼公共施設マネジメント推進課長 平沼宏之 企画課政策推進室長 石原健二 教育総務課長 村田雄一
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1. 開 会 2. 挨拶 3. 報告事項 (1) ヤングケアラー実態調査結果について (2) 学校統合地区検討会議の報告について (3) 地区センター整備計画について 4. 協議・調整事項 (1) 教育大綱の策定について ①次期教育振興基本計画について (2) その他 5. その他 6. 閉 会
傍 聴 者 数	1人

	<p>資料1-1：入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）概要</p> <p>資料1-2：入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（西武地区）概要</p>
配布資料	<p>資料2-1：地区センター整備計画について</p> <p>資料2-2：地区センター整備計画（素案）概要版</p> <p>資料2-3：入間市地区センター整備計画（素案）</p> <p>資料3：第3期入間市教育振興基本計画（素案）</p> <p>資料4：入間市ヤングケアラー実態調査結果（概要版）</p>
関係者職氏名	<p>○教育部 教育部長 浅見嘉之、教育部次長 片寄貴之 教育部参事兼学校教育課長 遠藤敏 教育総務課長 村田雄一、教育総務課主幹 千葉茂</p> <p>○こども支援部 こども支援部長 齋藤忠士、 こども支援課こども政策室長 徳山雅美</p> <p>○総務部 総務部参事兼公共施設マネジメント推進課長 平沼宏之</p>
事務局職員職氏名	<p>○企画部 企画部長 鳥山政之、企画部次長 栗原康友 企画部企画課政策推進室長 石原健二 企画課政策推進室副主幹 森正行、企画課政策推進室主査 齊藤祐樹</p>
会議録作成方法	要点筆記

会議録（２）

議事の概要（経過）・決定事項

<報告事項>

- (1) ヤングケアラー実態調査結果について
調査結果について説明を行った。
- (2) 学校統合地区検討会議の報告について
宮寺・二本木地区と西武地区の検討会議概要と今後の取組について説明を行った。
- (3) 地区センター整備計画について
整備計画素案の概要について説明を行った。

<協議・調整事項>

- (1) 教育大綱の策定について
 - ①次期教育振興基本計画について
教育部で策定している次期教育振興基本計画について意見交換を行った。
- (2) その他
特になし。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
	<進行：鳥山部長>
	1. 開会
	2. 挨拶
	3. 報告事項
	(1) ヤングケアラー実態調査結果について
企画部長	報告事項についてこども支援部より説明を願う。
こども政策室長	それでは令和3年7月に実施したヤングケアラー実態調査について、調査結果の概要を説明する。なお、詳細を記載した報告書について現在作成中であり、今回はあくまで速報値での概要報告である。
	(資料4を説明)
企画部長	ただ今の報告事項について、質疑等はあるか。
山本委員	小学校教員・養護教諭のヤングケアラー認知度の項目において、「知らなかった」と回答している養護教諭は5人いたとなっているが、養護教諭は市全体で何名ほどいるのか。
こども政策室長	26名である。なお、今回の対象者は市内小学校16校の小学1年生から3年生の担任および養護教諭129名であり、そのうち56名に回答いただいている。

発 言 者	発 言 内 容
橋本委員	日常生活への影響の設問について、小学生では40人、中学生では24人が「ストレスを感じている」と回答しているが、助けを求めているような児童・生徒はいなかったか。
こども政策室長	このアンケートではいなかったが、こども支援課では家庭児童相談室を設け、子どもの相談にも乗っているが、子どもからの相談は少ないのが現状である。今回のアンケートで相談ができる場所の必要性を改めて認識したので、今後の支援の在り方を検討するうえで活用していきたい。
河村委員	ケアの内容の設問について、「気持ちのケア」という項目があるが、具体的にどういうことか。
こども政策室長	気持ちが不安定な家族に寄り添ったり、祖父母の話し相手になる等、そばにいて元気づけたりしているというイメージである。
企画部長	今後、分析結果を含めた報告書を取りまとめるということなので、その報告書を確認し、何かあればまたこの会議でも取り上げていきたい。
市長	この調査結果を踏まえて、ヤングケアラーを含めたケアラー支援の体制整備について、学校現場と連携を取りながら、検討を進めていきたい。
企画部長	では、報告事項（1）ヤングケアラー実態調査結果については以上とする。
企画部長	（2）学校統合地区検討会議の報告について 報告事項について総務部より説明願う。

発 言 者	発 言 内 容
総務部参事	<p>学校の統合を行うに当たって地域住民の意見を聞くために宮寺・二本木地区と西武地区に設置していた検討会議の概要を報告する。</p>
	<p>(資料1-1、資料1-2を説明)</p> <p>今後は宮寺・二本木地区については新たな学校の用地が選定でき次第、検討会議を再開し、西武地区については終了した検討会議の成果を引き継ぎ、今後設置予定である(仮称)学校統合委員会で学校統合に向けて具体的な内容を検討していく。</p>
企画部長	<p>ただ今の報告事項について、質疑等はあるか。</p>
高山委員	<p>2つの検討会議に共通する課題として、防災拠点としての機能や最先端の機能設備、通学の安全といったことが伺える。こういった課題を解決し、住民が納得するような説明を続けてほしい。説明を受けていて向原中学校の建設時のことを思い出した。当時、建設前には不安に思う住民からの反対意見も少なくなかったと記憶している。その際にも良い学校をつくることを十分に説明し、実際に人材という面でも設備の面でも本当に素晴らしい学校ができ、住民にも納得いただいた。今回も反対意見はあると思うが、より良い学校をつくることを説明して行ってほしい。</p>
企画部長	<p>これから具体的に着手していくなかで、モデルとなるような学校をつくっていくことが望ましいだろうという意見であるが、総務部から何かあるか。</p>
総務部参事	<p>地域住民に対して丁寧な説明を行っていきたい。</p>
企画部長	<p>今後も進捗状況に応じて、報告をいただきたい。では、報告事項(2)学校統合地区検討会議の報告については以上とする。</p>

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p>(3) 地区センター整備計画について 報告事項について企画部より説明願う。</p>
政策推進室長	<p>これまで庁内での検討や区長会等の関係団体からの意見聴取を経て策定した、地区センター整備計画（素案）について概要を報告する。（資料2-1に基づき説明） 今後、関係団体への素案に対する意見聴取を予定している。</p>
企画部長	<p>ただ今の報告事項について、質疑等はあるか。</p>
高山委員	<p>計画が進んでいるという印象である。素案には地区センター職員は市長部局と教育部局の併任とするという記述があるが、教育の中立性・独立性は担保されるのか。</p>
政策推進室長	<p>地区センターを設置する令和5年4月までの準備期間のなかで調整していきたい。</p>
企画部長	<p>地区センターは、組織としては市長部局である（仮称）地域振興課に属するということになるが、6つの機能を果たしていく上では、例えば社会教育活動であれば社会教育課というように、それぞれの所管課と連携を図っていくことになる。その連携において、中立性の確保というのは課題になってくると思うので、今後の調整における課題のひとつとしていく。</p>
高山委員	<p>宮寺・二本木地区について、二本木公民館のほうが宮寺公民館より広いと思うが、宮寺公民館を地区センター化するほうが様々な機能を備えるという点で都合が良いということか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
政策推進室長	<p>公共施設マネジメント事業計画において、宮寺公民館を地区センター化することとしているため、それを基本として考えている。また、第6次入間市総合計画の基本構想における都市構造において、宮寺公民館は宮寺地区の生活拠点としていることも踏まえて宮寺公民館としている。</p>
高山委員	<p>分館となる4館について、10年後にどのように扱うのかも想定しているのか。</p>
政策推進室長	<p>原則廃止としているが、地域住民等からその施設の活用方法が提示された場合には継続利用も選択肢として考えられる。</p>
河村委員	<p>二本木公民館はおそらく全公民館の中で最も新しい施設だと思うが、それでも取り壊されてしまうのか。</p>
政策推進室長	<p>施設が他に比べ新しいということは承知している。現在の公共施設マネジメント事業計画では、子育て支援施設として活用を図っていくこととしていることから、必ず取り壊されるというものではない。</p>
企画部長	<p>今後も計画を策定していくなかで、順次報告させていただく。</p> <p>では、報告事項（3）地区センター整備計画については以上とする。密の回避の観点から、総務部及び子ども支援部の職員についてはここで退室させていただく。</p> <p>4. 協議・調整事項</p> <p>（1）教育大綱の策定について</p> <p>①次期教育振興基本計画について</p>

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p>教育行政の大綱については、教育行政における地域住民の意向をより一層反映させること等の観点から、市長が策定することとされている。その策定に当たっては、市長と教育委員会との間で十分に協議し、調整を尽くすことが前提となっていることから、この総合教育会議における協議事項となっている。ただし、教育振興基本計画が教育委員会において定められている場合には、市長が総合教育会議で教育委員会と協議・調整を行ったうえで、同基本計画をもって大綱に代える判断をした場合には別途定める必要はないとされている。このような規定となっていることから、大綱の取り扱いについて協議・調整を図っていきたい。本市においては、「第6次入間市総合計画・前期基本計画」と「第2期入間市教育振興基本計画」の内容が整合していることを本会議において確認し、同振興基本計画をもって大綱に代えるとして、これまで大綱は策定していない。現在、本市においては令和4年度からの本市の行政運営の計画である「第6次入間市総合計画・後期基本計画」を策定中であり、教育委員会事務局においては、こうした動きと並行して「第3期教育振興基本計画」の策定を進めているとのことである。そのため本日は、策定中である「第3期教育振興基本計画」について説明いただき、令和4年度以降の大綱に関する対応について協議・調整を進めていきたい。両計画は現在策定中であるため、本日協議・調整いただいた内容を踏まえ、各所管にて調整を図り、内容が確定した後に大綱の扱いについて改めて判断をいただきたい。それでは、「第3期教育振興基本計画」の策定状況と素案の概要について教育委員会事務局より説明願う。</p>
教育総務課長	<p>第3期教育振興基本計画の素案は、現在、市長部局で策定中である第6期入間市総合計画・後期基本計画との整合を図りながら策定を進めており、この後期基本計画は前期基本計画を引き継いだ見直しとなることから、本計画についても、第2期計画を引き継いだうえでの見直しを図って</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いるが、第2期計画策定時からの5年間で生じた新たに取り組むべき事業や社会情勢の変化に合わせた見直しを進めている。（資料3に基づいて説明）</p>
企画部長	<p>令和3年8月に素案をまとめ、8月26日の教育委員会定例会において協議いただき、9月17日に市長に説明を行った。現在、庁内への意見聴取を実施している。教育委員と庁内からの意見を反映し原案を取りまとめ、10月18日から約1か月パブリックコメントを実施する予定である。</p>
教育長	<p>意見交換に入る前に、ただいま説明いただいた教育振興基本計画の策定に当たっての理念や方向性について、教育長より補足等があればお願いしたい。</p>
企画部長	<p>理念そのものについては、第2期教育振興基本計画から変更をせず、社会や教育の変化に合わせて、柔軟に見直しを図っていくよう指示した。</p>
企画部長	<p>それでは意見交換に入る。各委員から何か意見はあるか。</p>
高山委員	<p>第3期教育振興基本計画において、目玉となるようなものはあるのか。</p>
教育総務課長	<p>施策と関連するSDGsゴールを示しているほか、第2期計画からの計画全体にわたっての大きな変更点としてはICTを活用していくという点であり、タブレット端末の活用や大型モニターを使った授業に取り組み、GIGAスクール構想を進めていくことである。</p>
山本委員	<p>第2期計画と比べると、資料3の7ページのグランドデザインにおいて、コミュニティ・スクールが学校教育の図に記載されていることや、社</p>

発 言 者	発 言 内 容
教育長	<p>会教育において「地域学校協働活動」という地域と学校の連携について体制を整備していこうという点が触れられているのが良いと感じた。どうしても教育計画というと学校中心の計画となってしまうが、文化財の保護等、社会教育との関わりについて学校教育に取り入れていけると良い。また生涯学習の推進という政策のなかに学習成果の活用という施策があるが、そういった活用の場面で教育支援につなげていけると良いのではないか。次に、国や県の教育振興基本計画を参酌するとあるが、国や県の計画策定期と市の計画策定期は少しずれている中で、具体的にどのような点を取り入れているのか。また、第2期の総括を踏まえてということになると思うが、指標についてはどのように考えているのか。</p> <p>国や県の政策の確認と、第2期計画の評価をしたうえで、第3期計画を策定することを指示している。また、山本委員が触れられていた7ページのグランドデザインについては、第2期計画を踏襲しつつも、生涯を通して学んでいく、またそれは個人単位ではなく、市民全体の豊かな生活を目的とすることで、学校教育と社会教育は重なり合っているという視点を盛り込んだデザインに修正した。</p>
教育総務課長	<p>山本委員のご指摘のとおり、国や県の計画との策定期の違いから取り入れるには時代背景的に古いものもあるが、例えば県で毎年度公表している教育の重点施策のような情報も取り入れながら策定を進めている。指標については総合計画との整合を図るため、調整中であるが、平時における指標だけではなく、コロナ禍を踏まえた指標についても可能な限り設定できるよう検討を進めている。</p>
高山委員	<p>コミュニティ・スクールをグランドデザインに明記しているということは入間市としては力を入れて進めていくということだと思うが、到達目標</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>などはあるのか。</p>
<p>教育部参事兼 学校教育課長</p>	<p>令和4年度に金子中学校区、東金子中学校区で試行運用をはじめの予定である。それをもとに令和5年度から他中学校へ広げていきたい。</p>
<p>企画部長</p>	<p>教育部の説明と教育委員からの質問や意見を伺った。ここで市長の教育に対する思いとこれまでの議論のなかで感じたことをお話しいただければと思う。</p>
<p>市長</p>	<p>教育振興基本計画に掲げられている内容は、市の取り組み方針と同じ方向性であるので、しっかりと取り組んでいただき、市の教育の充実を図っていただきたいと思う。</p>
<p>山本委員</p>	<p>「外に出す教育」であるとか「残す教育」という言葉があった。コロナ禍において、地元志向が強まっているという話も聞くので、地元で働きたいという若者を支援することも考えながら教育を進めていく必要があると思う。今ではインターネットを使えばどこにいても仕事ができる社会になっている。</p>
<p>市長</p>	<p>仰るとおりだと思う。地元を愛し、地元で働いてほしいという思いもある一方で、世界に羽ばたいてもらいたい思いもある。どこにいてもふるさとを思う心を持ち続けてほしいと思っている。それを教育につなげていくのは難しいことかもしれないが、入間市から出ていったとしても、入間市をふるさとと言ってくれる人を受け入れる体制を持ってほしいと思う。雇用でも観光でも、何らかの形で触れれば一生入間市民として大切にしていこうという方向性を教育の場面でも育てていただけたらよいと考えている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>地元貢献したいという人を育てるという点と世界で活躍する人材を育てるといふ点のどちらも、入間市が発展していくためには必要な視点であると思う。同時にやはり入間市に住みたいと思ってもらえるようなまちづくりをしていくことも人口減少社会を踏まえると重要な視点だと思う。そのためには、子育てがしやすい環境や教育が充実しているということ、医療体制がしっかりしていることは特に大事だと思う。</p>
市長	<p>現在の入間市は、どちらかの視点に寄っているということはない。どちらか一方というわけではなく、両方の視点からしっかりと取り組んでいきたい。中学校に茶室があって茶道を学ぶといったことは入間市の教育の自慢になる。普段触れていると当たり前になってしまうことも他から見ればすごいことだと思うので、そういった当たり前のように行っていることも伝えていくことは大切だと思っている。入間市の教育は良いということもシティプロモーションの一環として取り組んでいきたい。</p>
教育長	<p>市長が言われた茶道を学ぶこと、いわゆる「盆手前」は、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、その代わりに地場産業であるお茶について研究し、お茶を通して入間市が発展していくにはどうしたら良いのかということを考え、その結果を動画にし、お茶農家の方々に審査してもらった。住んでいるまちをより良くするためにどうしたらいいのかを子どもが考え、また子どもが考えていることをエネルギーとして市民が受け取ることで、まちが活性化していくのではないかなと思う。</p>
河村委員	<p>総論として異議はないが、各論になるとまだ課題もあると思う。計画というのは究極の理想の姿を掲げ、それを達成するための手段や方法を記述しているものだと捉えているが、最終的には市民や家庭、地域にどのようなかたちで落とし込んでいくかがポイントである。協力いただくにあたっ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ての方法や手段が計画の中だけだと具体的に読み取れない。市民に感覚で理解いただけるよう計画以外の手段により「見える化」を図ってほしい。</p>
教育長	<p>「見える化」というのは重要なキーワードだと思う。一生懸命やっても何をやっているかわからないということになってしまっただけでは支援したいと思っている人にも伝わらない。わかりやすく市民に伝えられるよう努めていきたい。</p>
橋本委員	<p>子どもたちのほうが例えば「society5.0」といった新しい言葉をよく知っていることがある。最先端の技術を教育に取り入れることは求められているとは思いますが、他の委員も言われているように、医療や子育て支援がしっかりしていないと住みづらいと思う。また、市が実施していることやセールスポイントについてはアピールしていくべきだと思う。</p>
市長	<p>学校や教育というのはみんなが見たいと思っている部分であり、「見える化」して、その姿を共有することが大切だと思う。教育を良くするための取り組みをしているなかで、たとえ失敗していることであっても、あえてありのまま見せることで、良い提案や支援を得られるかもしれないので、そういう面でオープンな環境を作っていきたい。</p>
企画部長	<p>様々なご意見をいただいた。本日の議論に加え、今後も教育委員会での調整や総合計画との調整も図っていくこともあると思う。それぞれの事務局を通じてみなさまのご意見を取り入れていきたい。そういった過程を経て、確定したそれぞれの計画を踏まえて、教育振興基本計画をもって大綱とするのか、それとも別途策定するのかを次回会議で決定したい。</p> <p>では、協議事項（1）教育大綱の策定については以上とする。</p>

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p>(2) その他</p> <p>続いて、「(2) その他」ということで、ほかに協議したい事項等あるか。</p>
高山委員	<p>先ほどの協議事項の件で、質問がある。入間市ではこれまで教育振興基本計画をもって教育大綱としていると説明があったが、全国的には入間市と同様の対応をしているところが多いのか。</p>
政策推進室長	<p>県内ではあるが、概ね半分半分といったところである。ただ、別個で策定しているといっても、大きな方向性のみを定めているものが多く、その大きな方向性を踏まえて、詳細な施策を教育振興基本計画で定めているようである。</p>
企画部長	<p>5. その他</p> <p>連絡事項として、事務局より、次回の総合教育会議の日程について申し上げる。</p>
政策推進室長	<p>次回の総合教育会議は、令和4年1月ごろの開催を予定している。日時等詳細が決まり次第、改めて連絡する。</p>
企画部長	<p>6. 閉会</p> <p>以上で閉会とする。</p>

